



YUMESHIN

証券コード:2362



株式会社 夢真ホールディングス

第**33**期 中間株主通信

平成22年10月1日▶平成23年3月31日

<http://www.yumeshin.co.jp/>

夢真ホールディングスグループが目指すもの

夢真ホールディングスは、建築業界におけるアウトソーシング業務にいち早く取り組んできたリーディングカンパニーです。技術力と人間力が求められるアウトソーシング業界において、当社グループは特定の業種や専門領域にフォーカスしたビジネスサポート業務を展開しており、建築分野以外にも、IT・保育・医療の各分野において、その高い専門性を発揮することで、多くのお客様から信頼をいただいております。

夢真ホールディングスグループの事業領域



株式会社夢真ホールディングス

建築技術サポート事業

施工図作図事業

保育所運営事業



(株)我喜大笑

医療関連サービス事業



(株)夢真メディカルサポート

ITソリューション事業

(株)ユニテックソフト

株主さまとともに

透明性のある企業経営を実践し、健全な成長・安定した提供に努めます。

お客さまとともに

必要な時に・必要な人数・必要な場所に・必要なスキルを持った人材を提供します。

従業員とともに

独自の研修プログラムで、ひとりひとりの成長を援助します。

社会とともに

新卒・若手の人材を積極的に採用し雇用の創造に努めます。

専門性の高い分野に 高付加価値の人材派遣を展開し 社会とともに成長してまいります

代表取締役会長兼社長 佐藤 真吾



夢真ホールディングスの特長について教えてください。

人材ビジネスを展開する企業は国内に多数存在しますが、総合人材派遣を謳う企業も建設業界にはほとんど注力していないのが現状です。それは、国や地方の公共事業が減少していることと、事業内容自体に専門的な要素が高く、適正人材を提供することが難しいためと思われる。

当社は、その建設業界に特化して人材ビジネスを展開している唯一の株式上場企業です。実は、建設業界は「受注時期が不確定」「異なる建築現場」「短い納期ニーズ」「労働集約的」な産業と言われ、「必要な時期に」「必要な期間だけ」「必要な数」の人材を求めているのが実状です。まさに、アウトソーシングに最も適している産業なのです。もともと当社は設計事務所として発足し、さらに高品質な施行図面の作成を大量、迅速に供給できるシステムを構築したことで、多数のお客様から信頼をいただきました。また、現場の施行管理ができる専門の技術者を多数育成してきたことで、建築現場をトータルで支える体制ができていました。創業以来のこうした礎があったからこそ、現在の建築派遣というマーケットを創成することができたのです。

その建設アウトソーシング事業の現状はいかがでしょうか。

基本的に建設産業は成熟したマーケットです。しかし、そこで働く人の数は、総合建設を手掛ける大手企業が大幅な人員削減等を実施してきたこともあり、恒常的に不足しています。そのため、建設アウトソーシングへの要請は継続的に強く、特に施行管理技術者に対するニーズは極めて高いと言えます。当社は、社員のほとんどが技術者であり、現状はフル稼働の状態です。

当第2四半期までの業績について教えてください。

当2011年9月期の第1四半期、第2四半期につきまして、建設現場への技術者派遣の需要は安定して高い水準で推移し、この間の累計の業績は、売上高2,868百万円（前年同四半期比11.1%増）、営業利益364百万円（前年同四半期比1.8%増）、経常利益365百万円（前年同四半期比1.5%減）、四半期純利益160百万円（前年同四半期比44.6%減）となりました。社員の採用をさらに強化し、需要の増加に対応してまいります。

トップインタビュー

建設アウトソーシング事業以外の事業領域はいかがでしょうか。

現在当社は、建築現場への技術者派遣を中核事業として、事業資源の大半を建設アウトソーシング事業に投入していますが、5年先、10年先を見据えて、社会性が高い事業領域に進出してまいります。社会性が高い事業とは、社会的なニーズが高く、今後成長が見込める事業ということです。

具体的には、2009年10月に設立したグループ会社の(株)我喜大笑が展開する保育園事業と、2010年7月設立の(株)夢真メディカルサポートが展開する医療ビジネス事業に進出しています。保育士派遣、医療人材派遣といった特色ある派遣事業から派生した事業分野で、どちらも政府による規制が存在し、一気に成長拡大という訳にはいきませんが、時間をかけながらコツコツと丁寧に進化させていく方向で、社会的なニーズに応えてまいります。

さらに、本年1月には(株)ユニテックソフトの株式を取得し、ITソリューション事業に参入しました。IT産業も建設業界と同様に人材の流動化が激しく、プロジェクトごとに必要となる人材の量や技術分野が大きく変動します。



大手企業といえども最大のプロジェクトにあわせて常に人材を確保しておくわけにはいかず、アウトソーシングの必要性が求められています。当社グループでは、これまで建築技術者分野で培った高度な人材派遣のノウハウを、システムエンジニア派遣分野でも活かして、高付加価値の人材提供を実施してまいります。

事業展開の要は人材ということになりますが、求める人材の理想はありますか。

建築分野において求める人材の理想像を掲げ、人材採用時に絞込みをかけるという考えはございません。当社の場合、それぞれの現場におけるオン・ザ・ジョブ・トレーニング(OJT)で徹底的に教育し、高度な技術を身につけることで自身の付加価値を高めさせるという考え方が主流です。建築現場のサポートという職務のため、マニュアル的に画一的な教育よりも、現場での時間の中で当社の社風や方向性を学んでいただくというのが基本的な姿勢です。人材採用の間口をできるだけ広げ、OJTによる社員教育によって、高度な技術者集団を形成することを目指しています。

今後のM&A戦略について教えてください。

企業価値向上のために、当社はまだまだ規模の成長を目指しています。そのため、建築派遣・技術派遣など本業の周辺に存在する企業群へのM&Aは常に考えています。案件は個々別々に異なるので一概には言えませんが、「相乗効果」と「収益が出る」という点がポイントであり、基本中の基本です。価格についてはなかなか微妙な問題ですが、「利益が出せる相手先」であるならば、世間で言われているような価格でなくとも意欲的なM&Aの対象として考えています。どの経営者も、自社の従業員・株主・取引先の幸せを追求しています。M&Aの結果、相乗効果



によって互いの企業がその方向性を高めることができ、かつ収益性を拡大させることで、規模と効率の拡大を実現させることを目指します。

こうした中、本年4月、㈱フルキャストホールディングスとの間で、同社傘下の製造業技術者派遣を手掛ける㈱フルキャストテクノロジーへのTOBが合意に至りました。当社の最大の強みである「高付加価値の人材派遣」をさらに追求・拡大した延長線上で、建設業と製造業の高度な技術者派遣の相乗効果を発揮し、将来的に当社の2本柱に育てていくことを目的としています。

このたびの震災の影響はありますか。

本年3月に発生した東日本大震災により被災された地域の皆様、および関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。まだまだ予断を許さない状況は続いておりますが、被災地が一日も早く復興することを心から願っています。

当社グループにつきましては、人的被害、建物および生産設備等への被害はございませんでした。

震災への復興対策として当社は、震災直後の3月25日に復興支援拠点として仙台営業所の開設を決定しました。

以前、仙台に営業所を構えていた時期があり、土地勘などもあることから、どこよりも早く復興拠点の立ち上げに踏み切りました。現地での職を失った方の採用を強

化し、就職から入って行って復興にお役立ていただければ、ということを考えました。また、当社の建築技術者派遣の拠点ができることで、就職支援とともに、当社が積極的に地域の復旧・復興に参加することが可能となります。さらに、そうした方々に当社の高度な技術を身につけていただき、将来的には首都圏などでもご活躍いただけることを期待しています。

最後に株主の皆様メッセージをお願いします。

私は先を読むのが大好きです。3年先のことを考えて、現状を踏まえつつ「今」手を打っています。今の業績は、3年前という過去からの発想や蓄積が現在に結びついているということです。そして今の努力は、蓄積して3年後の業績に必ずつながっていると考えます。

さらに10年先を考え、気配りをしながら四方に手を打っていきます。自分が考えた構想に沿って準備をし、それを成就させることが事業の真髄と思っています。常に新たな業務・新たな展開への目標設定をするために、日常の段取りを重ね、企業価値、株主価値の向上に努めてまいる所存です。

今後とも株主の皆様にはご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

インタビュー紹介

櫻井 英明

プロフィール

株式会社新聞Weekly編集長から経済・株式キャスターに転身。

ラジオNIKKEIやMXテレビなどで数多くの番組を担当し、経済や株式投資に関する著書も多数。



東日本大震災の復興支援拠点として仙台営業所を開設

2011年3月11日に発生した東日本大震災から3ヶ月ほどが経過し、道路、鉄道等の移動手段や水道、電気、ガスの供給など、ライフラインの整備は徐々に進展しています。その一方でまだまだ多くの被災者の方々が厳しい避難生活を余儀なくされ、さらに職を失われた方にとっては将来の展望が見えない、つらい日々が続いています。

当社ではこうした状況を少しでも緩和できますように、震災直後の3月25日に復興支援拠点として仙台営業所の開設を決定し、5月16日に仙台市内に仙台営業所を開設、稼働いたしました。社員が現地入りを果たし、まずは復旧の支援を開始しております。

仙台営業所では、当社の培ってきた建設技術者派遣のノウハウを活かし、下記の「4つの支援」を実施いたします。

- (1) 建築・土木に知識の深い技術者をボランティアとして派遣し、被災された方々を安全に支援いたします。
- (2) 東北地方での採用を強化し、就職支援いたします。
- (3) 土木技術者を派遣し、インフラ復旧を支援いたします。
- (4) 施工管理技術者を派遣し、仮設住宅からマンション建設まで、建築工事を支援いたします。

特に人材採用につきましては、150～200人程を予定しており、職の面からも積極的な支援活動を行ってまいります。

株式会社ユニテックソフトが当社グループに

2011年1月、株式会社ユニテックソフトの発行済み株式の90%を取得し、同社が当社グループ企業に加わりました。建築技術者派遣と並ぶ新たな収益の柱を打ち建てることを中期経営計画の重要な課題と位置付け、その一環として、ITソリューション事業を立ち上げました。同社が行っているシステムエンジニア派遣事業が、当社の事業領域である「高付加価値の人材サービス」と共通しており、高い相乗効果が期待されます。

商号：株式会社ユニテックソフト

資本金：2,000万円

本店所在地：東京都中央区日本橋

事業内容：システム開発の受託、システムエンジニア派遣、プロジェクトマネージャー派遣他

社会的な要請に応え、認可・認証保育所を展開

増え続ける待機児童の問題解消に、当社グループは積極的に取り組んでいます。保育所が不足している地域において、自ら自治体に提案し、地域に愛される安心・安全な保育所の開設を推し進めています。当社グループ企業で2009年10月設立の株式会社我喜大笑では、2010年11月、東京都墨田区に東京都認証保育所「保育園 夢未来 錦糸町園」を開設し、さらに2011年4月には、「保育園 夢未来 二俣川園」、「保育園 夢未来 井荻園」を開設いたしました。二俣川園は横浜市認定保育室として、井荻園は杉並区認証保育所としてスタートしています(井荻園は2011年度中に東京都認証保育所に移行予定)。



有能なスタッフによる良質な保育サービスを提供



いずれも駅近の便利な立地



人員に対して十分な広さと清潔な設備

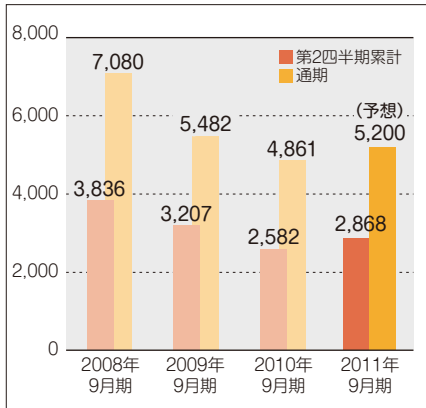
保育園 夢未来 錦糸町園：所在地 〒130-0012東京都墨田区太平3-3-12 アドバンス喜月ビル1階
保育園 夢未来 二俣川園：所在地 〒241-0821神奈川県横浜市旭区二俣川2-85-3 二俣川INKビル1階
保育園 夢未来 井荻園：所在地 〒167-0023東京都杉並区上井草1-23-15 シャルマン井荻1階

社会が必要としている問題に正面から取り組むことで、長期的な視野に立った企業価値の向上を目指し、企業としての安定感と成長力を発揮してまいります。

財務ハイライト

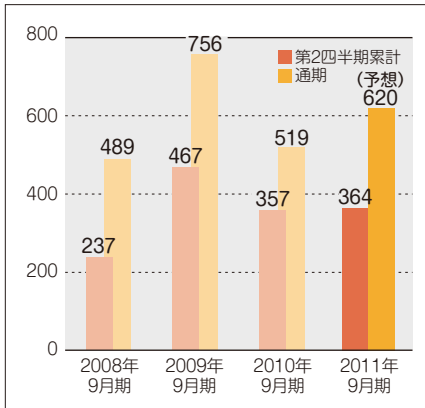
売上高

(単位:百万円)



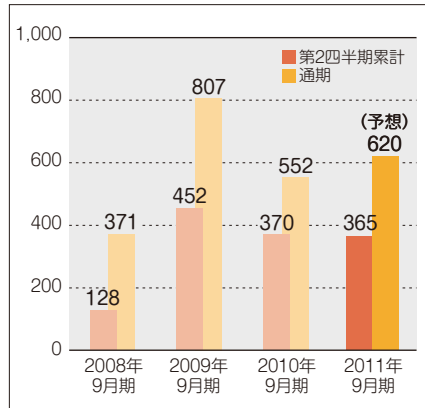
営業利益

(単位:百万円)



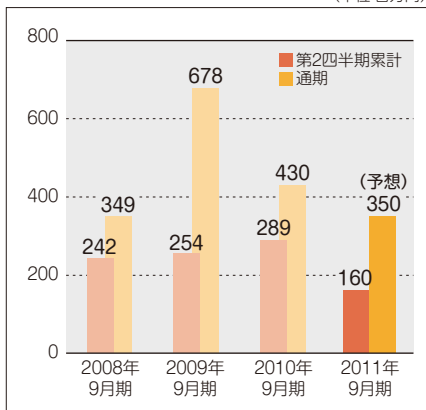
経常利益

(単位:百万円)



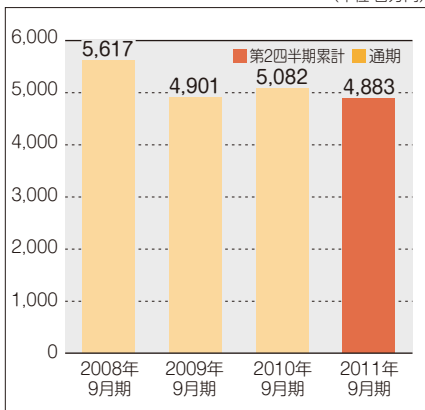
四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



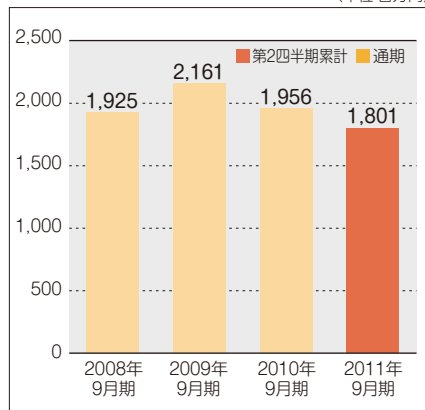
総資産

(単位:百万円)



純資産

(単位:百万円)



※2009年9月期通期のデータは、非連結のため単体の数値です。

売上高

首都圏の新築マンション着工戸数が、前年同期と比較して倍増した一方で、ゼネコンの正社員採用の増加は見送られていることから、技術者派遣の需要は安定して高い水準となり、当社の6ヶ月間の技術者派遣の平均稼働率は97.7%と実質フル稼働の状態が続きました。このため売上高は、前年同四半期比11.1%増の2,868百万円となりました。

資産

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて198百万円減少し、4,883百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少188百万円等によるものです。

連結財務諸表 (要旨)

連結貸借対照表

(単位:千円)

区 分	当第2四半期 2011年3月31日現在	前 期 2010年9月30日現在
[資産の部]		
流動資産	2,780,847	3,027,254
固定資産	2,102,534	2,054,843
有形固定資産	1,274,689	1,230,333
無形固定資産	104,025	36,497
投資その他の資産	723,819	788,012
資産合計	4,883,381	5,082,098
[負債の部]		
流動負債	1,064,034	1,101,623
固定負債	2,017,874	2,024,231
負債合計	3,081,908	3,125,854
[純資産の部]		
株主資本	1,819,676	1,990,362
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	867,545	867,545
利益剰余金	1,787,870	1,692,961
自己株式	△ 1,640,885	△ 1,375,291
評価・換算差額等	△ 18,203	△ 35,919
その他有価証券評価差額金	△ 18,203	△ 35,919
少数株主持分	—	1,799
純資産合計	1,801,473	1,956,243
負債純資産合計	4,883,381	5,082,098

連結損益計算書

(単位:千円)

区 分	当第2四半期累計 自 2010年10月 1日 至 2011年 3月31日	前第2四半期累計 自 2009年10月 1日 至 2010年 3月31日
売上高	2,868,924	2,582,140
売上原価	1,962,476	1,752,930
売上総利益	906,447	829,209
販売費及び一般管理費	542,360	471,486
営業利益	364,087	357,722
営業外収益	105,407	98,817
営業外費用	104,043	85,678
経常利益	365,451	370,862
特別利益	1,852	14,901
特別損失	40,265	10,418
税金等調整前四半期純利益	327,038	375,345
法人税、住民税及び事業税	25,558	13,915
法人税等調整額	141,893	86,771
少数株主損失(△)	△ 720	△ 14,910
四半期純利益	160,306	289,568

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

区 分	当第2四半期累計 自 2010年10月 1日 至 2011年 3月31日	前第2四半期累計 自 2009年10月 1日 至 2010年 3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	288,042	386,664
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 377,978	△ 38,868
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 480,034	△ 317,646
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 114	1,096
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△ 570,085	31,246
現金及び現金同等物の期首残高	1,341,573	1,461,059
現金及び現金同等物の四半期末残高	842,387	1,492,306

負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて43百万円減少し、3,081百万円となりました。これは主に、長短借入金の減少970百万円と社債の増加850百万円等によるものです。

純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて154百万円減少し、1,801百万円となりました。これは主に、四半期純利益として160百万円計上いたしましたが、剰余金の配当62百万円と自己株式の取得265百万円等によるものです。

株式の状況 (2011年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 160,000,000株
- 発行済株式総数 74,573,440株
- 株主数 2,185名

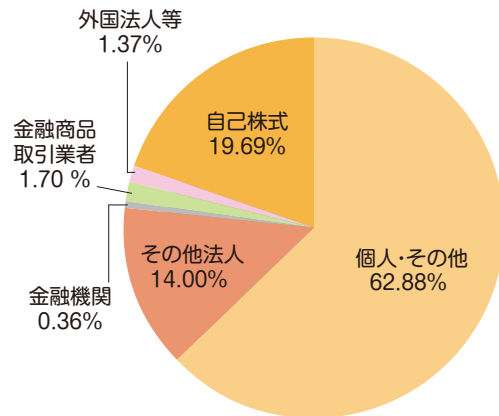
●大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
佐藤 眞 吾	27,909	37.42
投資事業有限責任組合 D R C I	5,653	7.58
有限会社佐藤総合企画	4,691	6.29
佐藤 淑 子	3,328	4.46
深井 英 樹	1,153	1.55
壬生 勇 次	952	1.28
THE BANK OF NEW YORK ,NON-TREATY JASDEC ACCOUNT	886	1.19
株式会社 S B I 証券	882	1.18
佐藤 幹 雄	520	0.70
株式会社夢真ホールディングス従業員持株会	415	0.56

(注) 上記のほか、自己株式が14,683千株(発行済株式総数の19.69%)あります。

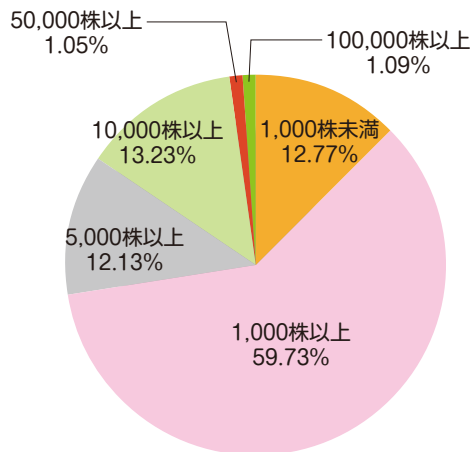
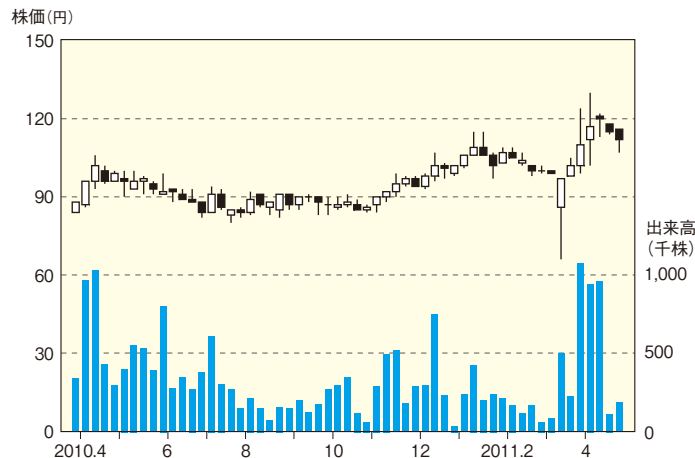
●株主分布状況

所有者別分布状況



所有株数別分布状況

●株価の推移



会社の概要 (2011年3月31日現在)

社名	株式会社 夢真ホールディングス
本社	東京都文京区大塚3-11-6大塚三丁目ビル
設立	1980年1月
代表者	佐藤 真吾
資本金	8億514万円
従業員数	連：996名 単：909名
事業内容	施工管理技術者派遣事業 施工図作図事業 保育園事業 医療介護支援事業
事業上場証券取引所	大阪証券取引所 (JASDAQスタンダード市場)
証券コード	2362

役員

代表取締役会長兼社長	佐藤 真吾
取締役	矢島 英一
取締役	佐藤 大央
常勤監査役	高橋 宏文
監査役	松本 幸夫
監査役	六川 浩明

ホームページのご紹介



ホームページ
<http://www.yumeshin.co.jp/>

夢真ホールディングス ゆるキャラのご紹介



サブキャラ
ひよこり

ゆめのこの弟分。
玉子の殻の中身は…
秘密です！

メインキャラ
ゆめのこ

育ち盛りのだけのこ。
がんばり次第でいるんな建物に
成長します。
スカイツリーになるのが夢！

株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日
定時株主総会	毎年10月1日から3カ月以内に開催
基準日	定時株主総会：毎年9月30日 期末配当金：毎年9月30日 中間配当金：毎年3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
単元株式数	1,000株
証券コード	2362

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社あてにお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 (通話料無料)	フリーダイヤル 0120-176-417 (平日 9:00～17:00 / 土・日・祝 休)
公告の方法	当社のホームページに掲載します。(http://www.yumeshin.co.jp/)ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは日本経済新聞に掲載します。

株式会社夢真ホールディングス

〒112-0012 東京都文京区大塚3-11-6 大塚三丁目ビル



古紙配合率70%の再生紙を使用しています

